

株式会社マネーパートナーズグループ

東京証券取引所：スタンダード市場

証券コード：8732

2025年3月期 第1四半期

決算説明資料

2024年8月9日



本資料は、株式会社マネーパートナーズグループの事業及び業界動向についての株式会社マネーパートナーズグループによる現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明はさまざまなリスクや不確実性がつきまとっています。既に知られたもしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。株式会社マネーパートナーズグループは将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。本資料における将来の展望に関する表明は、2024年8月9日現在において利用可能な情報に基づきなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

連結決算概要(累計)

総口座数	取引高	営業収益	経常利益
373,783 口座	3,203 億通貨単位	1,484 百万円	247 百万円
(前年同期末比 11,355口座 増 ▲)	(前年同期比 23.3%増 ▲)	(前年同期比 3.3% 増 ▲)	(前期比 26.3% 減 ▼)

前期配当額

前期(24/3期) 期末配当

5.00 円

	<前期(24/3期)>	<前々期(23/3期)>
中間配当	6.00円	3.75円
期末配当	5.00円	9.00円
年間配当	11.00円	12.75円

事業ハイライト

- ◆ 豪ドル/円、NZドル/円などオセアニア通貨とトルコリラ/円、メキシコペソ/円などエマージング通貨の計5通貨について、5月24日から約定した新規買建玉のスワップポイントを最大1か月間増額するキャンペーンを開始



配当方針の変更

2023年3月15日に実施された取締役会にて配当性向の引き上げを決議

親会社株主に帰属する当期純利益の

変更前

30%を目標



変更後

50%を目標

前期(2024年3月期) 期末配当

前期の期末配当は**5.00円**(年間配当は11.00円)

(単位:円)

配当額推移



※ 2021年3月期期末配当は無配

目次

I-I	連結決算の概況 - 前年同期比 -	P.6
I-II	連結決算の概況 - 前四半期比 -	P.12
II	当社の経営目標及び株主還元について	P.22
III	企業価値向上に向けた数値目標の進捗について ...	P.24
IV	営業ハイライト	P.28
V	参考資料	P.33

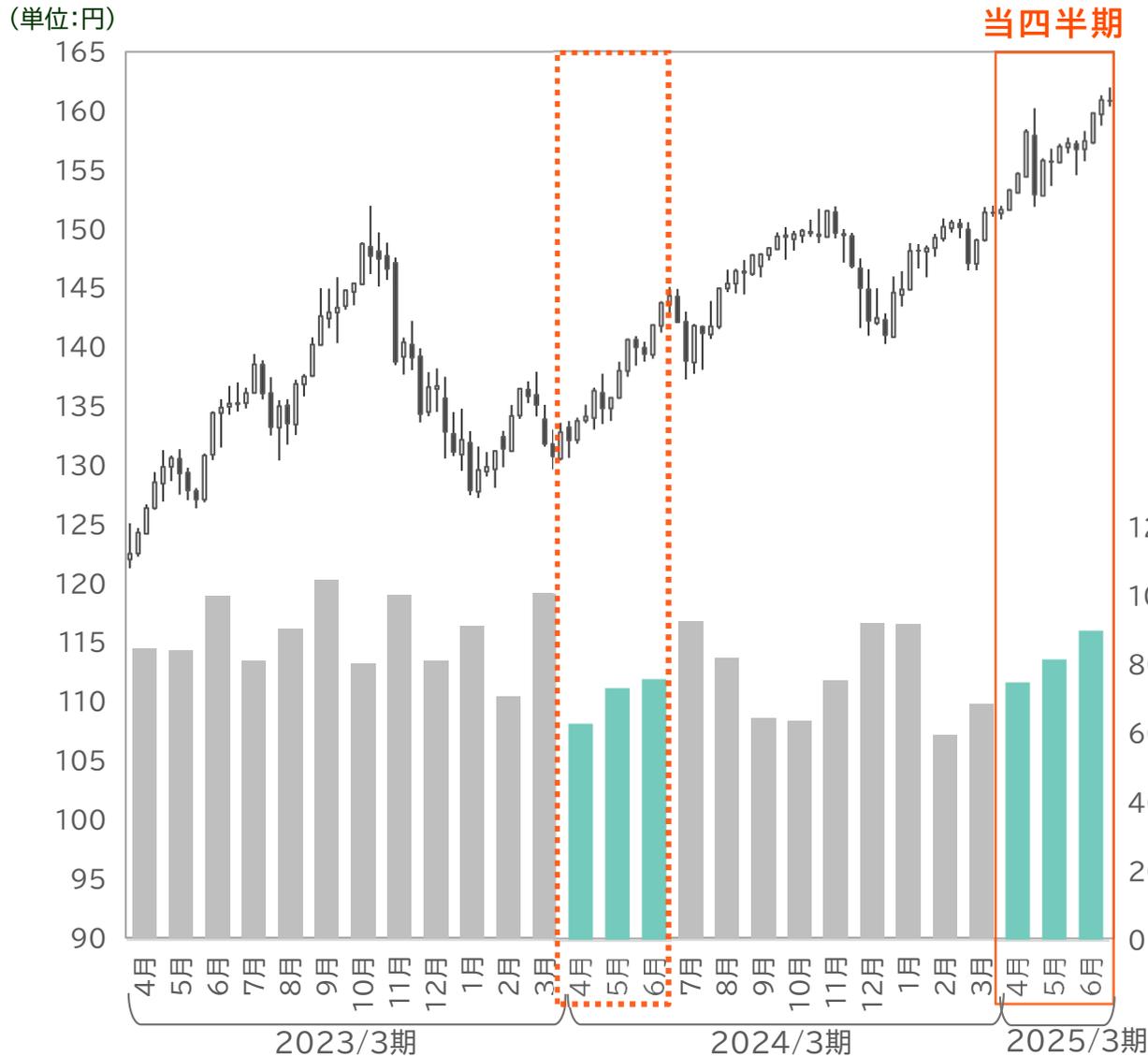
I-I 連結決算の概況

-前年同期比-

市場の状況(前年同期比)2023年4月～6月 及び 2024年4月～6月

米ドル／円の週足チャート(左軸)

国内FX業者の取引高合計(右軸) (単位:1,000億通貨)



米ドル／円 1日の平均値幅

23年 4月-6月	23年 7月-9月	23年 10月-12月	24年 1月-3月	24年 4月-6月
1.196円	1.160円	1.217円	1.060円	1.127円

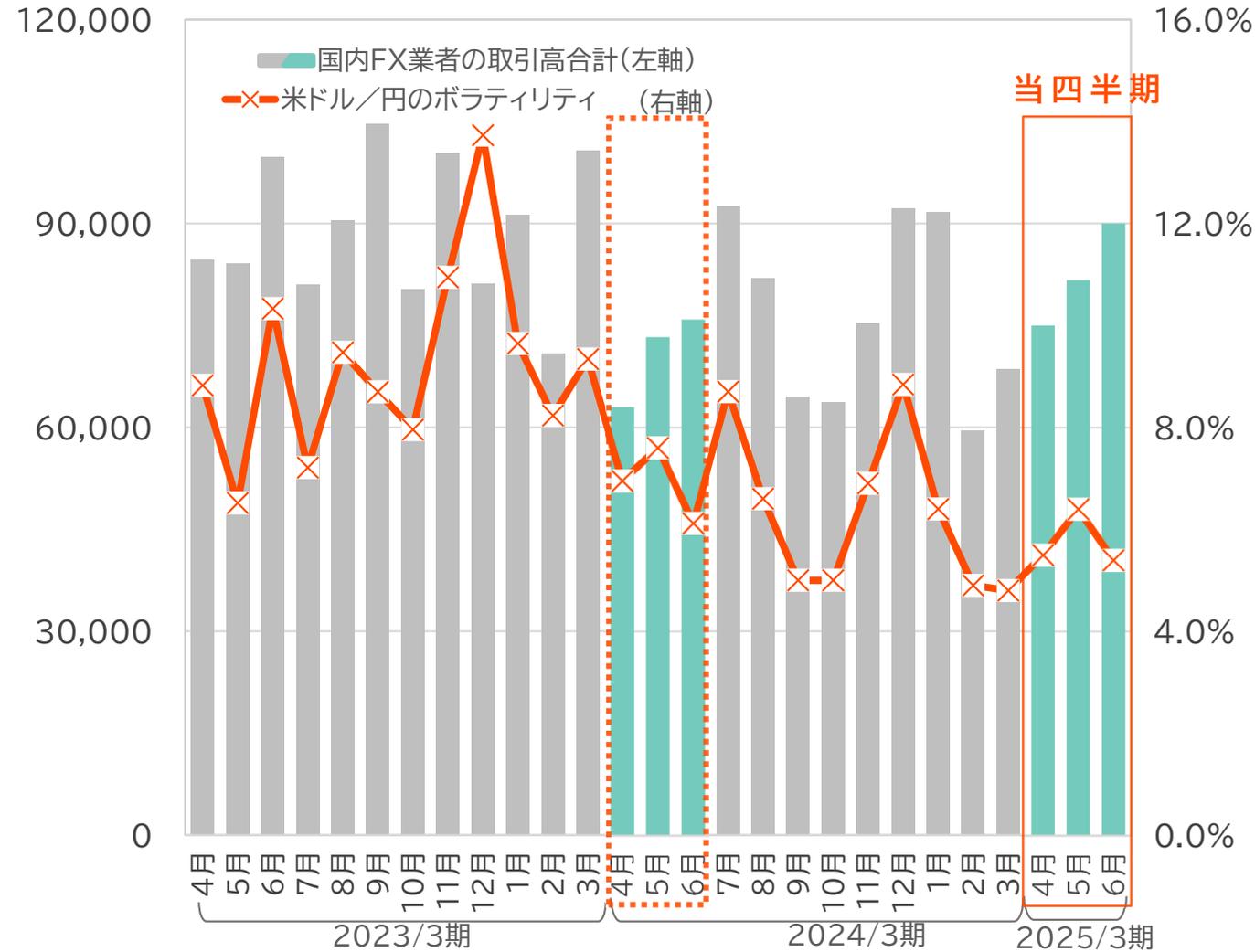
- ◆ 米ドル／円は、上昇傾向で推移し、6月28日には一時161円台前半を付け、1986年12月以来37年半ぶりの高値更新
- ◆ 米ドル／円の1日の平均値幅は、前年同期の1.196円から1.127円に縮小

※ 国内の店頭FX取引業者による外国為替取引高合計は金融先物取引業協会の発表する店頭FX月次速報をもとに記載しています。

市場の状況(前年同期比)2023年4月～6月 及び 2024年4月～6月

国内の店頭FX取引業者による外国為替取引高合計及び米ドル／円のボラティリティ推移

(億通貨単位)



四半期平均ボラティリティ

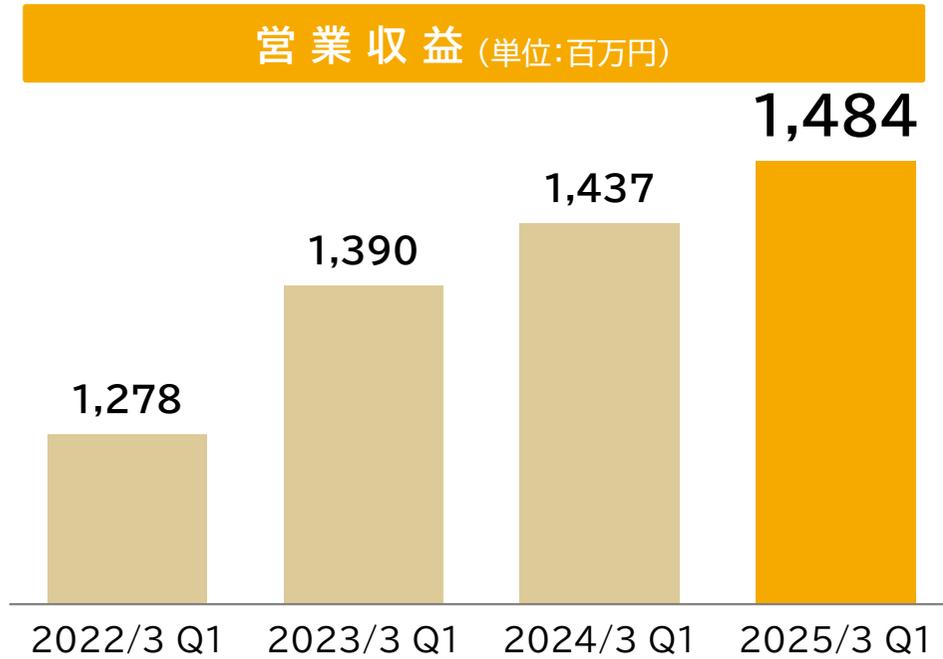
	USD/JPY	EUR/JPY	GBP/JPY	AUD/JPY	EUR/USD
24/3 Q1	6.9%	6.5%	6.8%	9.2%	5.5%
25/3 Q1	5.8%	5.3%	5.6%	6.5%	4.3%

- ◆ 米ドル／円のボラティリティは前年同期の6.9%を下回る5.8%となった
- ◆ 主要通貨のボラティリティは全体的に前年同期を下回ったが、当四半期の取引高は前年同期比で増加

※ 国内の店頭FX取引業者による外国為替取引高合計は金融先物取引業協会の発表する店頭FX月次速報をもとに記載しています。各通貨のボラティリティは、日々のボラティリティを月間平均した数値を使用しております。

2025年3月期 第1四半期 (2024年 4月～2024年 6月) 連結業績(前年同期比)

営業収益 (単位:百万円)



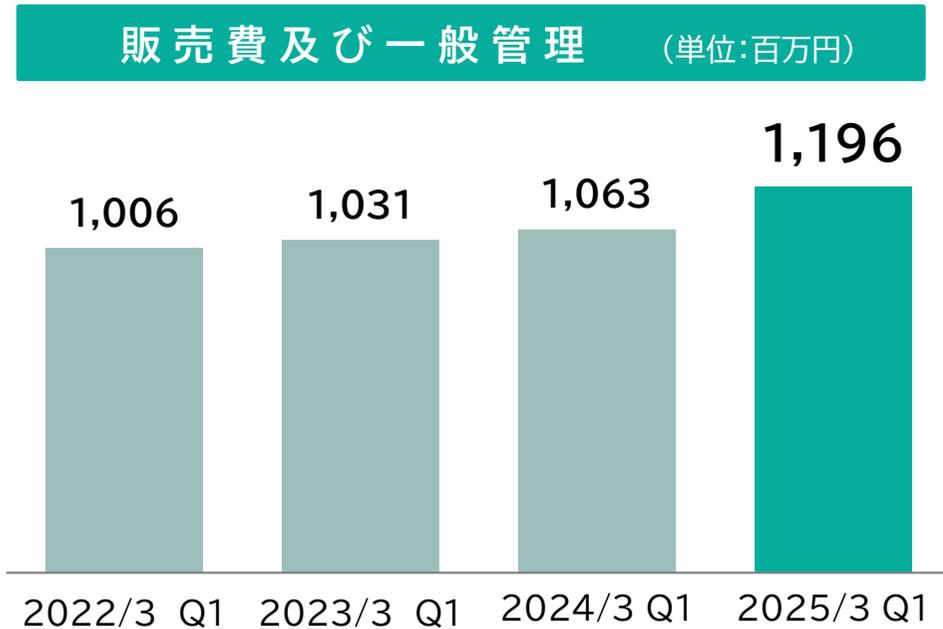
営業収益

3.3% 増 (前年同期比46百万円増)

主な増減の要因

- ◎ トレーディング損益が40百万円増加
 - ◆ 外国為替相場の変動率が高い水準で推移
 - ◆ スプレッド縮小を更に推し進める等の営業施策

販売費及び一般管理 (単位:百万円)



販売費及び一般管理費

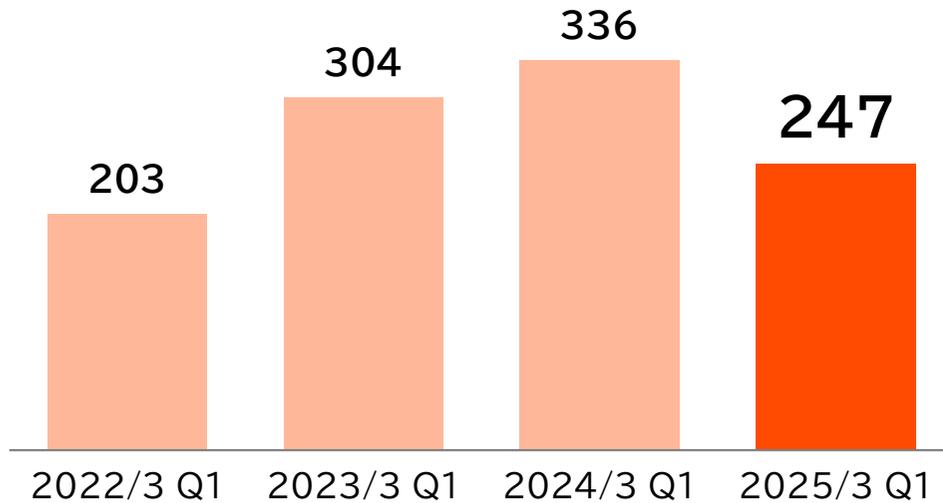
12.5% 増 (前年同期比133百万円増)

主な増減の要因

- ◆ 将来的なコストカットを目的とした基幹システムのクラウド化に向けた費用として器具・備品費が増加
- ◆ 営業上の施策により広告宣伝費が増加
- ◆ マネパカード事業からの撤退により支払手数料が減少

2025年3月期 第1四半期 (2024年 4月～2024年 6月) 連結業績(前年同期比)

経常利益 (単位:百万円)



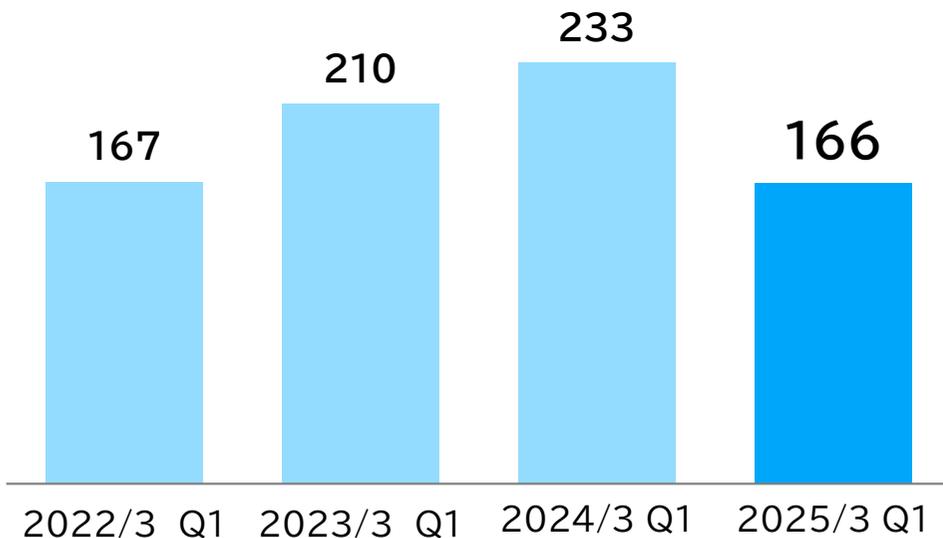
経常利益

26.3% 減 (前年同期比88百万円減)

主な増減の要因

- ◆ 営業収益が46百万円増加
- ◆ 販売費及び一般管理費が133百万円増加

親会社株主に帰属する四半期純利益 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する四半期純利益

28.9% 減 (前年同期比67百万円減)

主な増減の要因

- ◆ 経常利益が88百万円減少
- ◆ 法人税等合計が20百万円減少

2025年3月期 第1四半期 (2024年 4月～2024年 6月) 連結業績(前年同期比)

(単位:百万円)

	2024/3期 Q1 (2023年 4月～ 2023年 6月)	2025/3期 Q1 (2024年 4月～ 2024年 6月)	前年同期比	
			増減額	増減率
営業収益	1,437	1,484	+46	+3.3%
受入手数料	9	11	+2	+22.2%
トレーディング損益	1,385	1,425	+40	+2.9%
金融収益	2	3	+0	+28.3%
その他の売上高 ※	39	43	+3	+9.9%
金融費用	13	12	▲0	▲5.3%
売上原価	23	26	+3	+17.2%
純営業収益	1,401	1,444	+43	+3.1%
販売費・一般管理費	1,063	1,196	+133	+12.5%
営業利益	337	248	▲89	▲26.5%
経常利益	336	247	▲88	▲26.3%
税金等調整前四半期純利益	336	248	▲88	▲26.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	233	166	▲67	▲28.9%

※その他の売上高の内容は、全額システム関連売上高であります。

I-II 連結決算の概況

-前四半期比-

総口座数

373,783 口座

(前四半期末比 **3,277**口座 増 ▲)

取引高

3,203 億通貨単位

(前四半期比 **19.8%** 増 ▲)

営業収益

1,484 百万円

(前四半期比 **6.3%** 増 ▲)

経常利益

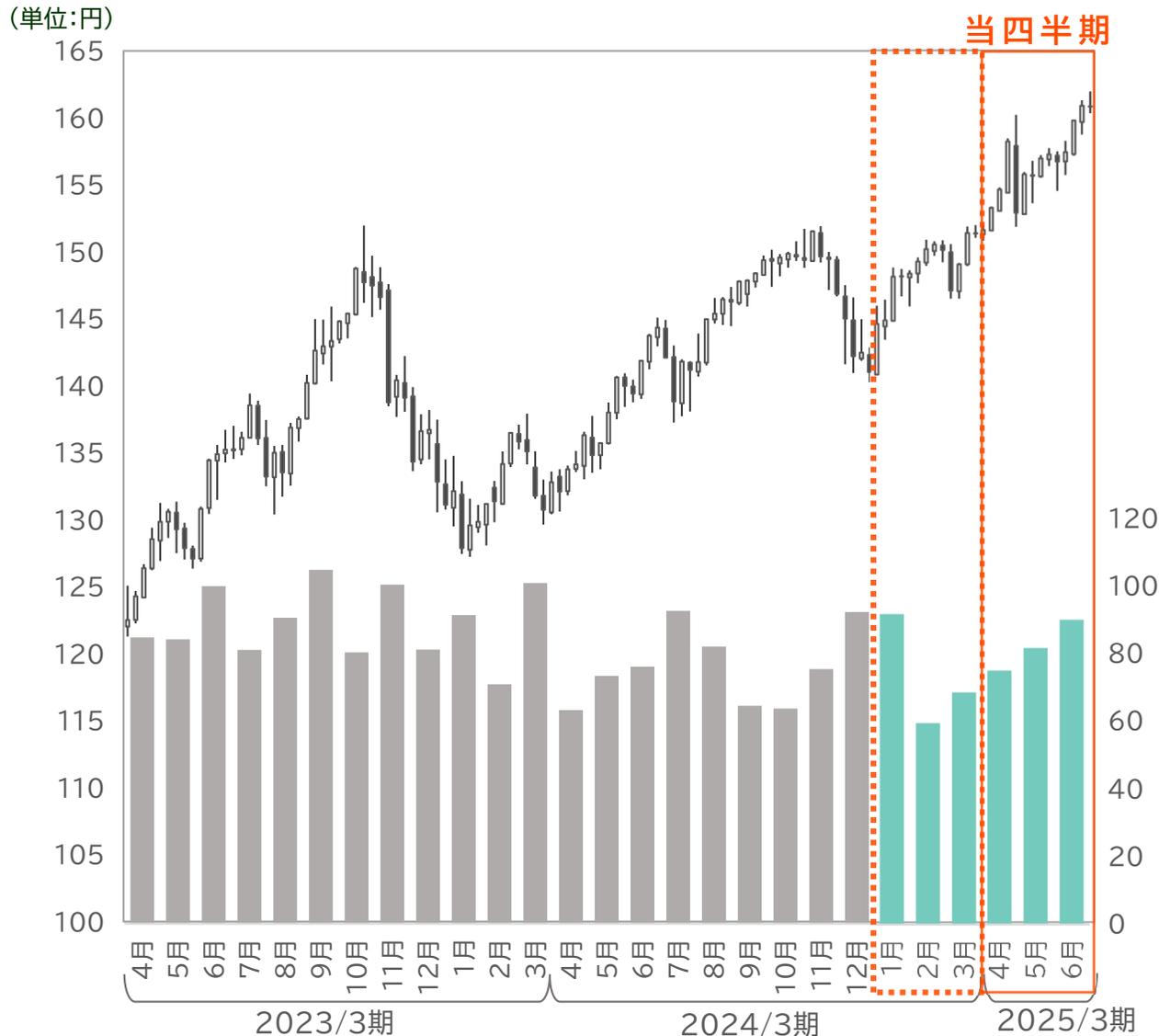
247 百万円

(前四半期比 **44.5%** 増 ▲)

市場の状況(前四半期比) 2024年1月~3月 及び 2024年4月~6月

米ドル/円の週足チャート(左軸)

国内FX業者の取引高合計(右軸) (単位:1,000億通貨)



米ドル/円 1日の平均値幅

23年 4月-6月	23年 7月-9月	23年 10月-12月	24年 1月-3月	24年 4月-6月
1.196円	1.160円	1.217円	1.060円	1.127円

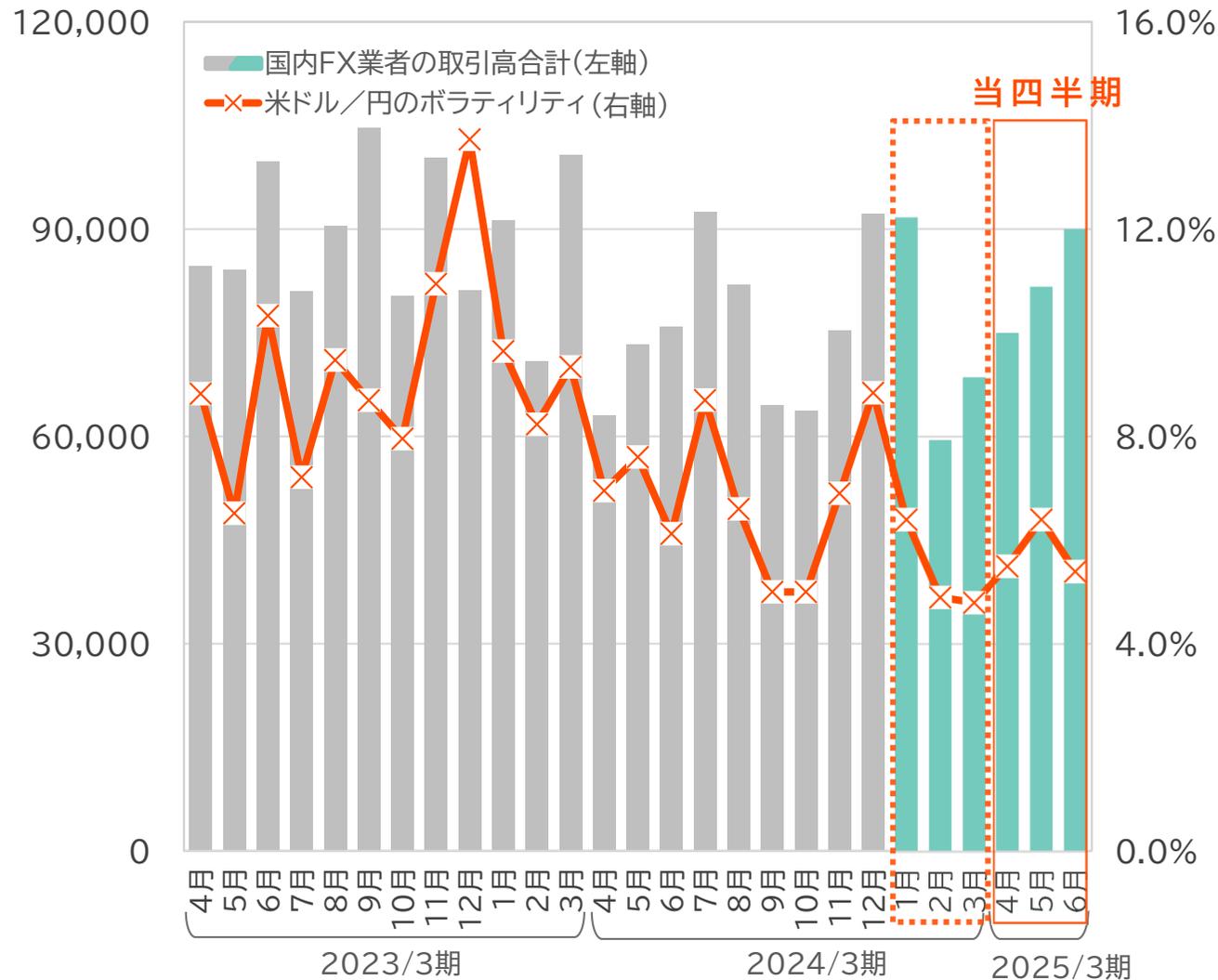
- ◆ 米ドル/円は、上昇傾向で推移し、6月28日には一時161円台前半を付け、1986年12月以来37年半ぶりの高値更新
- ◆ 米ドル/円の1日の平均値幅は、前四半期の1.060円から1.127円に拡大

※ 国内の店頭FX取引業者による外国為替取引高合計は金融先物取引業協会の発表する店頭FX月次速報をもとに記載しています。

市場の状況(前四半期比) 2024年1月~3月 及び 2024年4月~6月

国内の店頭FX取引業者による外国為替取引高合計及び米ドル/円のボラティリティ推移

(億通貨単位)



四半期平均ボラティリティ

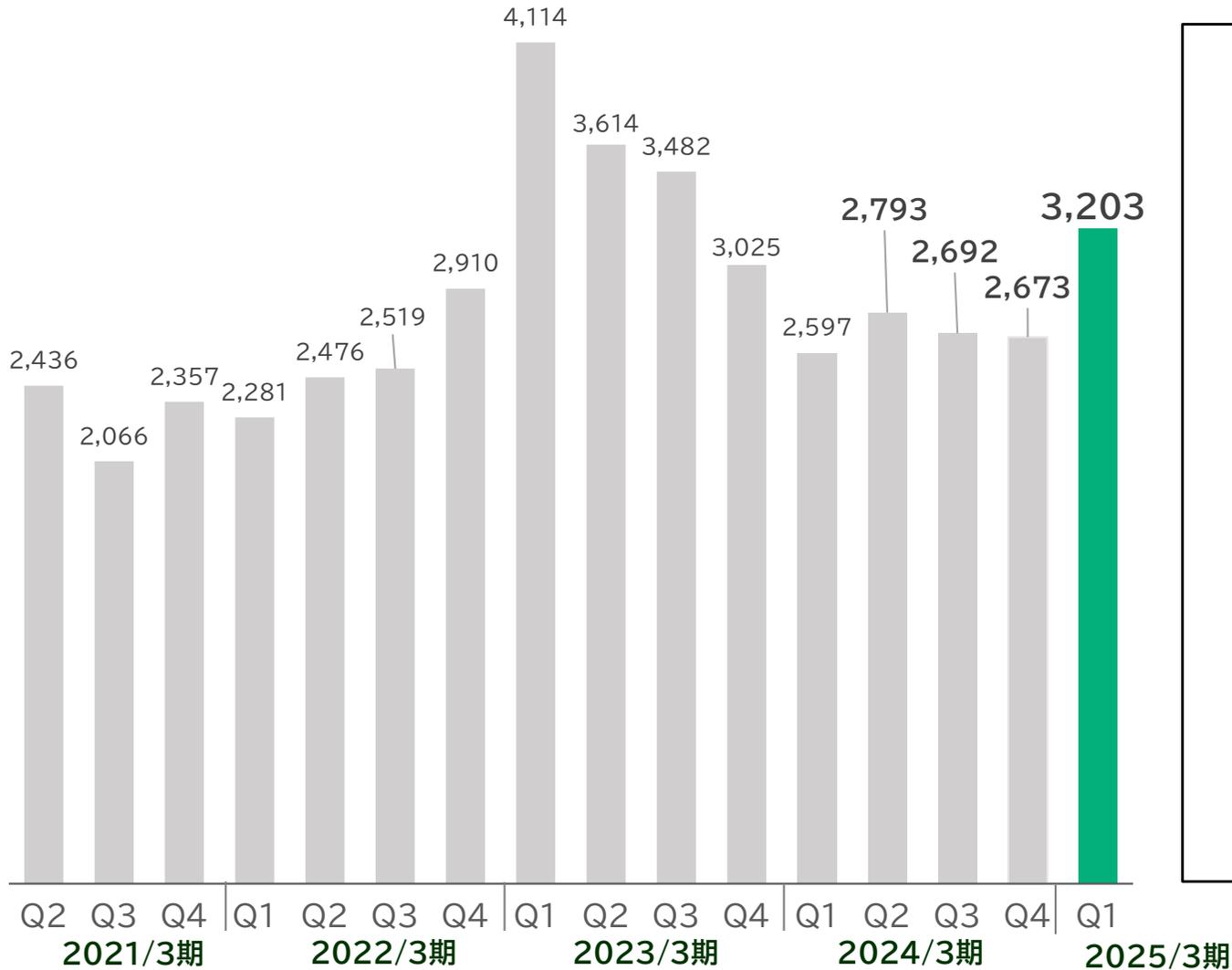
	USD/JPY	EUR/JPY	GBP/JPY	AUD/JPY	EUR/USD
24/3 Q4	5.4%	5.5%	5.1%	5.0%	3.6%
25/3 Q1	5.8%	5.3%	5.6%	6.5%	4.3%

- ◆ 米ドル/円のボラティリティは、前四半期の5.4%を上回る5.8%となった
- ◆ 主要通貨のボラティリティは、全体的に前四半期を上回り、相関関係で当四半期取引高も前四半期比で増加

※ 国内の店頭FX取引業者による外国為替取引高合計は金融先物取引業協会の発表する店頭FX月次速報をもとに記載しています。各通貨のボラティリティは、日々のボラティリティを月間平均した数値を使用しております。



外国為替取引高（単位：億通貨単位）



外国為替取引高

⇒前四半期比**19.8%増加**
(前四半期比**53億通貨単位 増**)

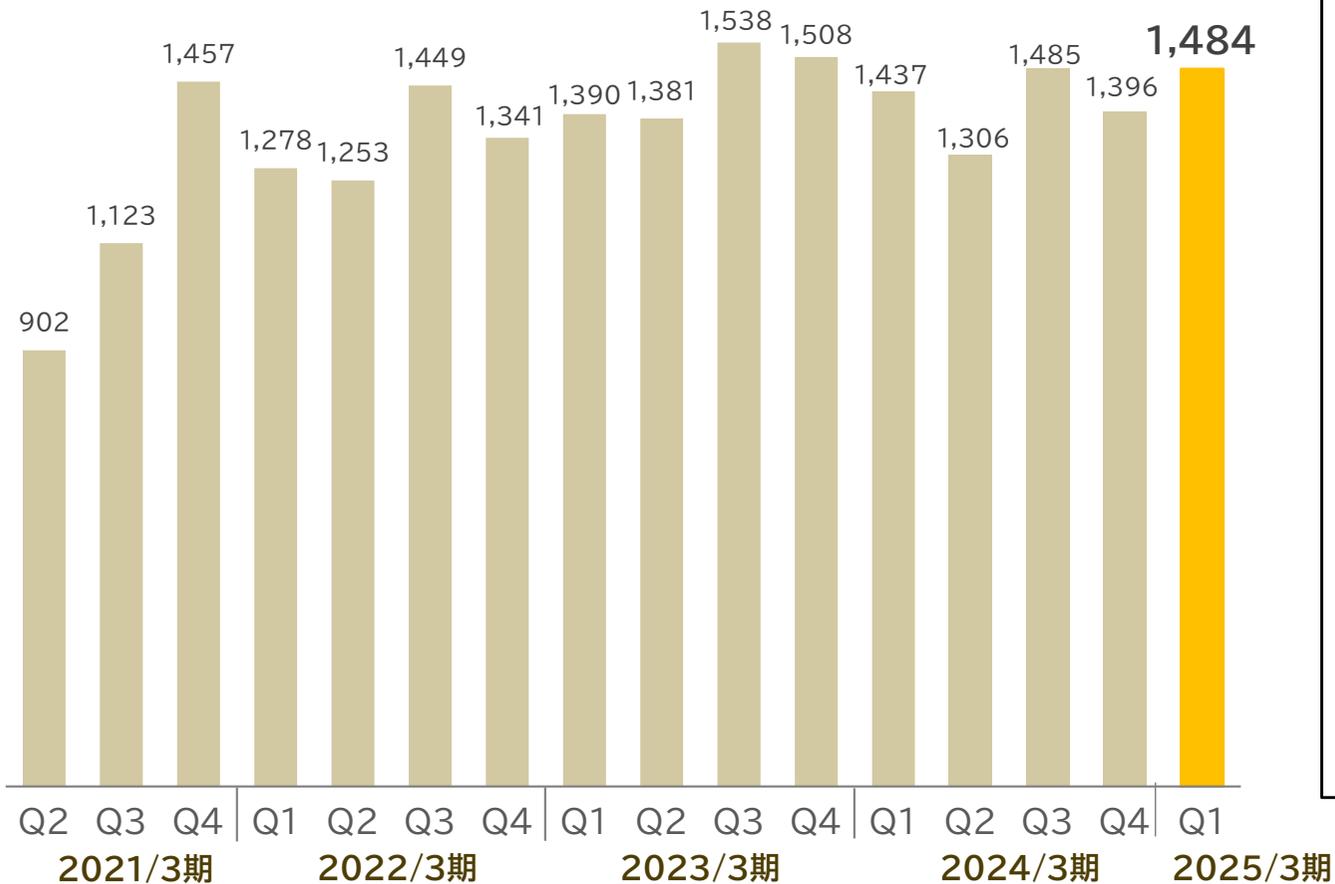
主な要因

- ◆ 外国為替相場の変動率が高い水準で推移
- ◆ スプレッド縮小を更に押し進める等の営業施策



四半期連結業績推移

営業収益 (単位:百万円)



営業収益

⇒前四半期比**6.3%増加**
(前四半期比**87百万円増**)

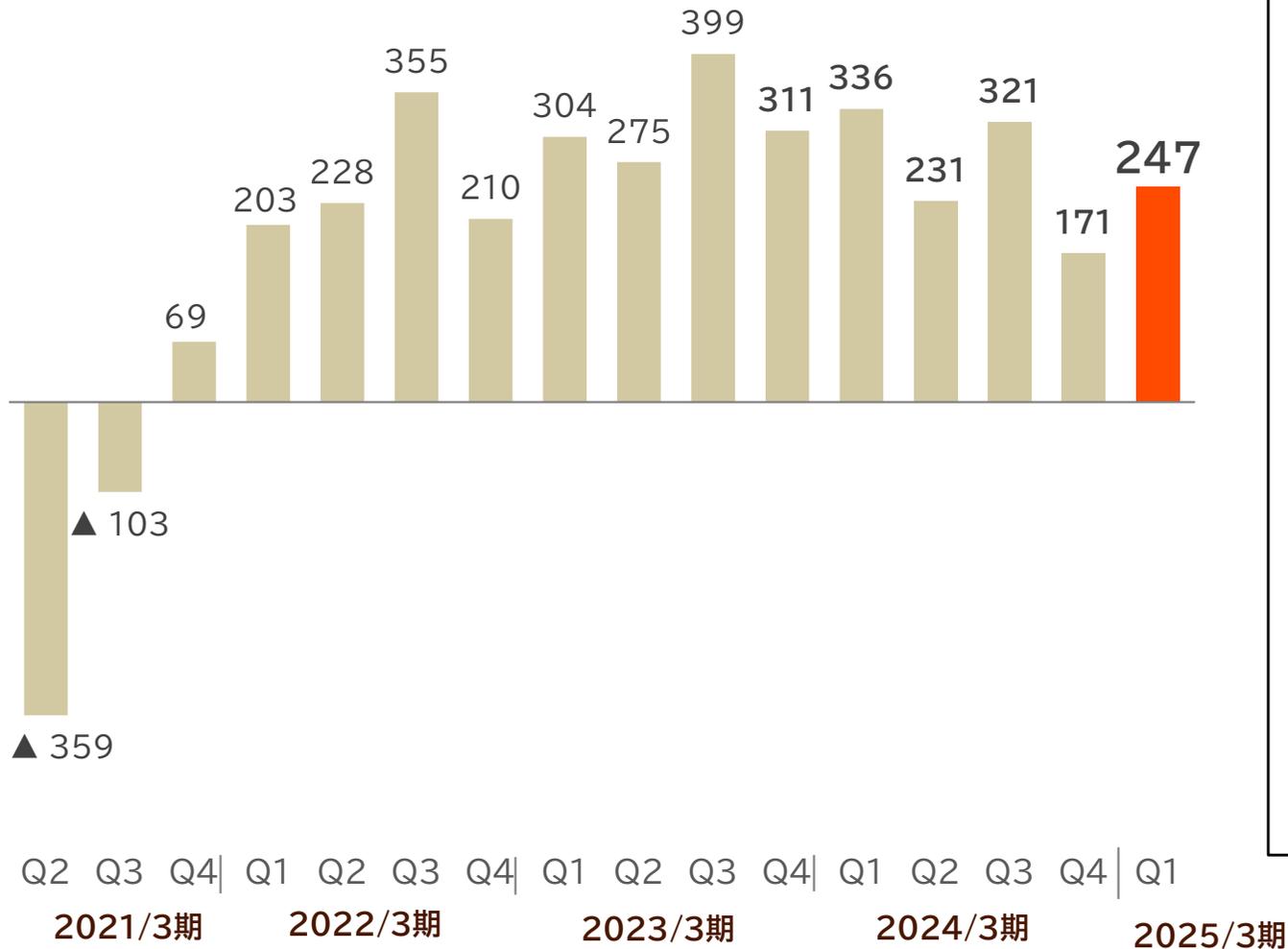
主な要因

- ◆ 外国為替相場の変動率が高い水準であったこと及びスプレッド縮小を更に推し進める等の営業施策により取引高が増加し、トレーディング損益が113百万円増加
- ◆ システム関連売上高が28百万円減少



四半期連結業績推移

経常利益 (単位:百万円)



経常利益

⇒前四半期比**44.5%**増加

(前四半期比**76**百万円 増)

主な要因

- ◆営業収益が87百万円増加
- ◆每期Q4に信用保証状の更新費用を計上しており、金融費用が53百万円減少
- ◆売上原価が16百万円減少
- ◆販売費・一般管理費が84百万円増加
- ◆営業外費用が3百万円減少



四半期連結業績推移

(単位:百万円)

	2023/3期				2024/3期				2025/3期
	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)
営業収益	1,390	1,381	1,538	1,508	1,437	1,306	1,485	1,396	1,484
受入手数料	8	9	10	8	9	6	7	11	11
トレーディング損益	1,344	1,305	1,463	1,456	1,385	1,209	1,399	1,312	1,425
金融収益	2	5	10	9	2	2	2	1	3
その他の売上高 ※	36	61	54	33	39	86	75	71	43
金融費用	25	22	22	67	13	11	11	66	12
売上原価	25	35	34	17	23	44	44	43	26
純営業収益	1,338	1,323	1,481	1,423	1,401	1,249	1,429	1,286	1,444
販売費・一般管理費	1,031	1,043	1,079	1,106	1,063	1,011	1,105	1,111	1,196
営業利益	306	280	402	317	337	237	323	175	248
経常利益	304	275	399	311	336	231	321	171	247
特別利益	—	—	—	—	—	—	—	—	0
特別損失	—	—	—	145	—	—	9	7	—
税金等調整前四半期純利益	304	275	399	166	336	231	312	164	248
親会社株主に帰属する四半期純利益	210	189	276	117	233	151	213	109	166

※その他の売上高の内容は、全額システム関連売上高であります。



四半期連結販管費推移(販管費内訳及び主要費目の推移)

主な増減要因 < 2025年3月期 第1四半期(2024年4月~6月)と
2024年3月期 第4四半期(2024年1月~3月)の比較 >

取引関係費 (増加) : 営業上の施策により広告宣伝費が増加

不動産関係費 (増加) : 将来的なコスト削減等を目的とした基幹システムのクラウド化に向けた器具・備品費の増加

事務費 (増加) : 第1四半期は決算・株主総会・期末配当関係の事務委託費が発生

(単位:百万円)

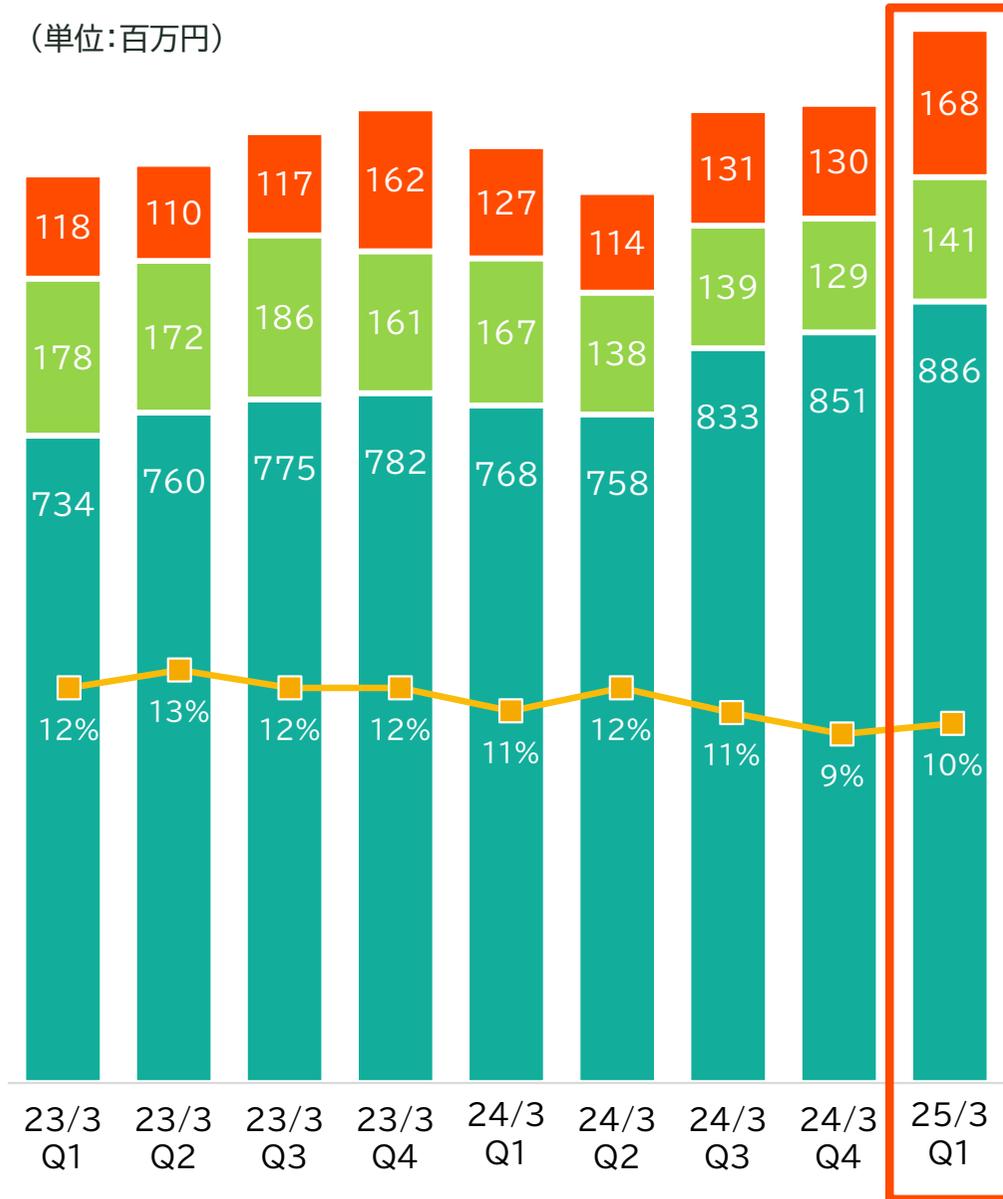
	2023/3期				2024/3期				2025/3期 Q1 (4月~6月)	前四半期対比増減	
	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)	Q1 (4月~6月)	Q2 (7月~9月)	Q3 (10月~12月)	Q4 (1月~3月)		増減額	増減率
取引関係費	297	282	303	324	294	253	271	260	309	+49	+18.9%
人件費	193	216	213	212	210	207	212	207	206	▲0	▲0.4%
不動産関係費※	149	178	186	186	181	195	268	304	314	+10	+3.4%
事務費	226	210	216	214	224	211	221	210	223	+13	+6.4%
減価償却費	119	119	120	120	106	108	97	97	103	+6	+6.8%
租税公課	23	24	27	26	26	24	25	17	22	+5	+31.0%
貸倒引当金繰入れ	▲0	▲1	▲1	▲1	▲0	▲1	▲0	▲0	▲0	+0	▲50.6%
その他	23	12	11	22	19	11	8	15	15	+0	+4.1%
販売費・一般管理費計 (主要な費目)	1,031	1,043	1,079	1,106	1,063	1,011	1,105	1,111	1,196	+84	+7.6%
広告宣伝費 (取引関係費に含まれる)	118	110	117	162	127	114	131	130	168	+37	+28.9%

※不動産関係費には、不動産費の他、器具・備品費が含まれております。



四半期連結固定費、変動費推移と今後の動向

(単位:百万円)



全社的なコスト削減や不採算事業の改善・見直しを推進
⇒さらなる筋肉質な会社へと変貌する取り組みを継続

マーケティングコスト

広告宣伝費

⇒ 25/3期Q2は、25/3期Q1より一定額増加し、
227百万円程度を見込む
(新規顧客獲得・既存顧客還元に注力、企業認知度向上を
図る施策を継続するため)

マーケティングコスト以外の変動費

広告宣伝費以外の取引関係費

⇒ 営業収益と一定程度の相関関係

マーケティングコスト以外の変動費の 営業収益に対する割合 (%)

⇒ 25/3期 Q2は、概ね9%~11%程度の水準を見込む
(取引高当たり収益率等、様々な要因により変動)

基礎固定費

変動費以外の販売費・一般管理費

⇒25/3期 Q2は、25/3期 Q1と同程度の水準を見込む

II 当社の経営目標 及び株主還元について



株主還元について

配当方針

配当性向

親会社株主に帰属する当期純利益の

50% を目指す[※]

※配当は、配当性向の目指す50%としつつも財務状況及び事業環境等を総合的に勘案して決定

配当機会

中間及び期末 (年2回)

		2024年3月期				2025年3月期			
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	上段:3ヶ月 下段:累計	233	151	213	109	166	—	—	—
		233	385	599	708	166	—	—	—
配当金の総額(百万円)		195		162		—	—	—	—
期末発行済 株式総数(株)		33,801,900 (内、自己株式1,202,301)		33,801,900 (内、自己株式1,202,301)		—	—	—	—
1株当たり 配当金	中間・期末	6.00円		5.00円		未定		未定	
	年間	11.00円				未定			

Ⅱ 企業価値向上に向けた 数値目標の進捗について

基本方針

当社は経営上の計画として数値目標を設定し、その計画期間を**2026年3月期末まで**としております。そのため、以下の数値目標を設定し、各種取組を着実に実行してまいります。

(ご参考)

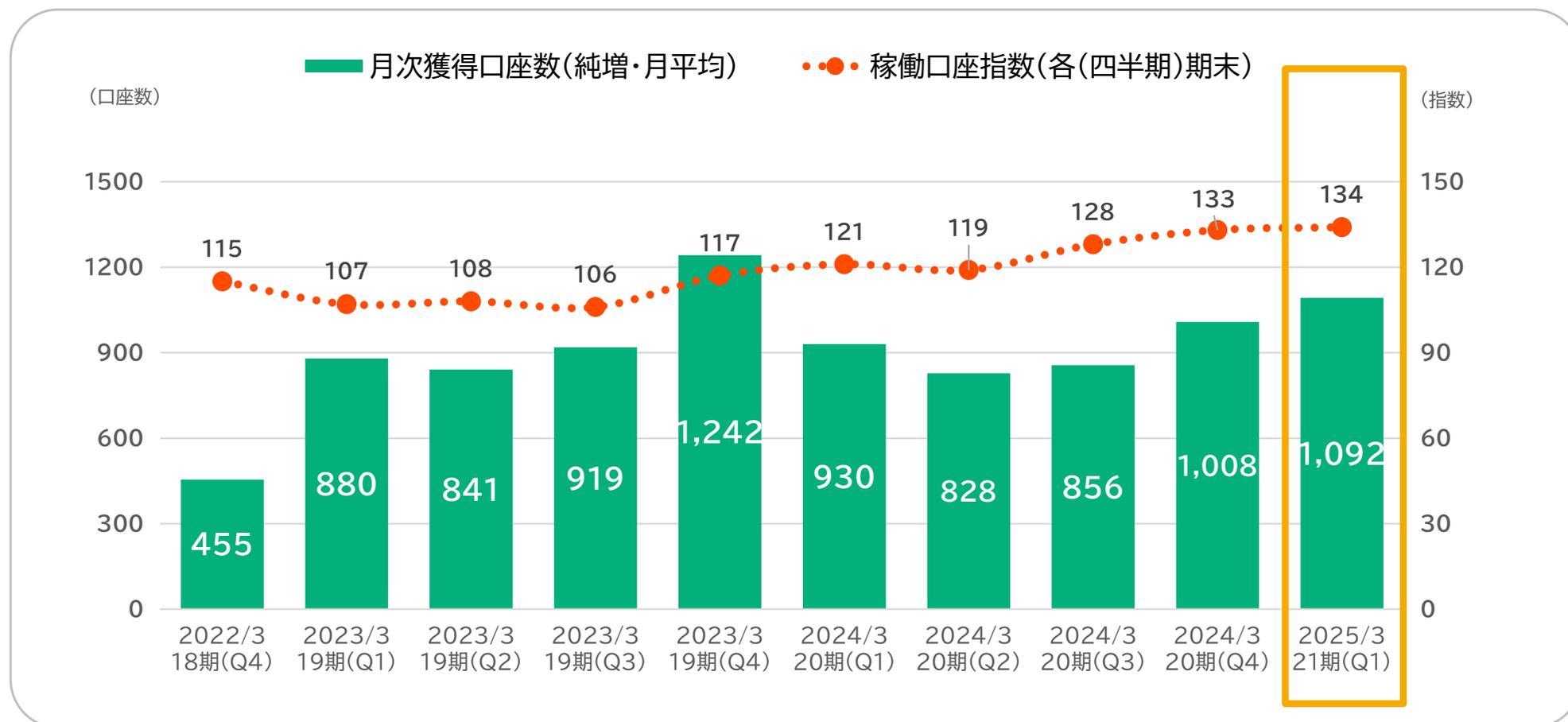
数値目標 / 年度	2026年 3月期	2025年3月期 第1四半期(実績)
ROE	8%以上	4.8% ※
営業収益経常利益率	20%	16.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,400 百万円	166百万円
EPS	42.95円	5.21円
株 価	554円	
流通株式時価総額	11,720 百万円	

※ 親会社株主に帰属する四半期純利益を年換算して算出しております。

主な各種取組の進捗状況

達成目標 < 2026年3月期中 >

- ◆ 月次の新規獲得口座数 **2,000**件以上(月次獲得口座数(純増ベース))
- ◆ 稼働口座数の増加(2021年9月を100とした指数で**180**以上)



■ ■ ■ 主な各種取組の進捗状況

- 既に達成した課題
- ▲ 進行中の課題

課題	取組	期日	進捗
業績の向上	● 暗号資産CFDにかかるサービス開始	2021年12月6日	サービス開始
	● 現状のBTC、ETH、LTC、BCH/円に加え、さらなる銘柄の追加通貨を検討	2023年3月期中	検討中
	▲ 将来のコスト削減に向けたシステム投資(クラウド移行等)	2023年3月期以降を予定	2024年11月完了予定
コーポレートガバナンスの充実	● スマホアプリのリニューアル	2022年3月期中	2023年3月18日に新たなスマートフォン向けFX取引アプリをリリース
	● 投資家向け決算説明会等の充実	2022年3月期末以降、コロナ禍の状況を見つつ再開	2022年5月より再開
	● 英文開示資料の拡充	2022年6月より 定時株主総会狭義の招集通知を英訳	第18回定時株主総会招集通知の英訳を実施
	● 取締役会の諮問機関として「指名、報酬委員会」を設置	2022年3月期中	2022年2月15日設置
	● 投資家に対する情報開示の充実、IRサイトのリニューアル	2022年3月期中	2023年5月に日本語版IRサイトのリニューアルを実施
	● バーチャル併用(参加型)の株主総会の実施	2022年3月期にかかる 定時株主総会より実施予定	2024年6月開催の総会は費用対効果を勘案し非実施

IV 営業ハイライト

営業ハイライト① 業界唯一「米ドル/円」など人気5通貨ペアの スプレッド「0.0銭（売買同値）」の提示を継続

- ◆ 業界唯一「米ドル/円」をはじめとする人気5通貨ペアのスプレッド「0.0銭(売買同値)」の提示を継続中

対象通貨ペア

「米ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」、「豪ドル/円」、「メキシコペソ/円」 ※ 1回あたりの取引数量は限定

- ◆ 2024年4月22日より人気通貨ペア「米ドル/円」ではスプレッド0.0銭の提示の対象時間を「8:00～28:00」の20時間、対象取引数量を5万通貨までに拡大するキャンペーンを継続実施

- ◆ 主要通貨「豪ドル/円」、「ユーロ/円」、「ポンド/円」など16通貨ペアで市場流動性の高い「17:00～27:00」の10時間を「ゴールデンマネパタイム」とし、業界最狭水準スプレッドを提示

※6月21日より「メキシコペソ/円」「ユーロ/円」など一部通貨ペアにおいてキャンペーンスプレッドを標準スプレッドとして適用

※7月1日より「8:00～28:00」の「米ドル/円」のプレッドを「0.1銭」で標準化

nano スプレッドキャンペーン

米ドル/円 5万通貨まで 0.0 銭

4/22-7/31 8:00-翌4:00 メンテナンス時間除く 原則固定(例外あり)

少額取引を最小コストで始められる

パートナーズFX nano

FXRANKING MINKABU 2022 2023 2024 スプレッド部門 No.1

みんかぶFXスプレッド部門 3年連続 No.1

8:00-翌4:00 業界最狭水準 スプレッド 米ドル/円 0.0 銭

1ドル150円の時 600円 から取引可能

※5万通貨まで(キャンペーン期間:4月22日~7月31日)
 ※主要経済指標発表時等の急変時、国内外の休日や平日早朝など著しい流動性低下時はやむをえずスプレッドを拡大する場合がございます。
 ※メンテナンス時間を除く



営業ハイライト② キャンペーンスプレッドを標準化

「ユーロ/円」「ポンド/円」のスプレッドを業界最狭水準で提示!

- ◆ **米ドル/円スプレッド0.2銭の提示を強化**
もっとも取引量の多い「米ドル/円」のスプレッド0.2銭の提示を「8:00～翌朝4:00」までの20時間に延長

PFX 米ドル/円

スプレッド 全力宣言

提示スプレッド 業界最狭水準 0.2 銭

スプレッド提示時間 業界最長水準 20時間 [8:00~翌4:00]

※原則固定 (例外あり)

- ◆ **キャンペーンスプレッドを標準スプレッドとして適用**
4月15日から「米ドル/円」「ユーロ/円」「ポンド/円」など主要10通貨ペアのスプレッドが標準化
6月21日から「トルコリラ/円」や「人民元/円」を含む8通貨ペアのスプレッドの標準化

PFX 4月15日より 10通貨ペアの標準スプレッド変更!!

※原則固定 (例外あり)

米ドル/円	ポンド/円	ユーロ/円
8:00 ~ 翌4:00	17:00 ~ 翌3:00	17:00 ~ 翌3:00
0.2 銭	0.5 銭	0.3 銭
4:00 ~ 8:00 3.9 銭	9:00 ~ 17:00 0.7 銭 3:00 ~ 9:00 9.9 銭	9:00 ~ 17:00 0.4 銭 3:00 ~ 9:00 5.9 銭

他にも 豪ドル/円、ユーロ/米ドルなど計10通貨ペアの標準スプレッドが変わりました!

- ◆ **大手情報メディア『MINKABU』が発表した『FX会社年間ランキング』「スプレッド部門」において、3年連続で年間第1位を獲得**

第1位

FX会社比較ランキング MINKABU

2022 スプレッド部門

第1位

FX会社比較ランキング MINKABU

2023 スプレッド部門

第1位

FX会社比較ランキング MINKABU

2024 スプレッド部門



営業ハイライト③スワップポイントの大幅な増額を行うなど 期間中の取引数量に応じたキャンペーンを実施

2024年5月より『スワップポイント大幅増額キャンペーン』を実施
「オーストラリアドル/円」、「ニュージーランドドル/円」、「トルコリラ/円」、「メキシコペソ/円」、「南アフリカランド/円」の5通貨ペアについて、期間中に約定した新規買建玉のスワップポイントを最大1か月間増額するキャンペーンを実施

PFX 5/27 - 6/28
いつ取引開始しても スワップわくわく!!!
1か月^{※1}受け取れる! スワップポイント大幅増額 キャンペーン 何回でも取引OK!

● 豪ドル/円 1,150円 <small>(増額分 740円)</small> <small>5月27日取引分 ※2</small>	● NZドル/円 1,330円 <small>(増額分 820円)</small> <small>5月27日取引分 ※2</small>	● トルコリラ/円 300円 <small>(増額分 250円)</small> <small>5月27日取引分 ※2</small>	● メキシコペソ/円 260円 <small>(増額分 240円)</small> <small>5月27日取引分 ※2</small>	● 南アランド/円 140円 <small>(増額分 110円)</small> <small>5月27日取引分 ※2</small>
---	--	---	--	---

※1. 取引日を1日目として、30日目まで。買建玉を決済せずに持ち続けた場合。 ※2. 10万通貨あたり

2024年4月より『取引応援キャンペーン』を実施
足元の施策として、2024年3月以前に当社で口座を開設されたお客様を対象に、日頃のお取引に感謝し、新規約定数量に応じて獲得したキャンペーンポイントを特典と交換できるキャンペーンを実施
※2024年6月末で終了
2024年7月から16通貨ペアの新規取引を対象とした『取引応援キャンペーン』を開催中

PFX 4/1 - 6/28
ポイントざくざく!!!
取引応援 キャンペーン

PayPayポイントプレゼント^{※1} OR グルメギフトプレゼント OR 現金キャッシュバック

※1 PayPayギフトカードで付与。PayPayポイント（出金・譲渡不可）に交換することで利用可能。

営業ハイライト④ -スプレッド縮小施策以外の当社取り組み-

- 指値約定に対する最大100万円のキャッシュバックプログラムの実施
- メキシコペソ/円における新規約定数量の合計に対して、PayPayポイントをプレゼント
またはキャッシュバックするキャンペーンを実施
- 期間中の新規注文の合計が10,000通貨以上で参加可能なデジタルギフトキャンペーンの実施
※対象となる通貨ペアは限定

その他多数



PFX 新規指値系注文 1万通貨ごとに
毎月最大100万円
キャッシュバック
※対象通貨ペアの新規指値系注文 1ヶ月で合計200万通貨以上の取引が条件



PFX 6月3日～6月28日
メキシコペソ/円
のお取引で PayPayポイント付与^{※1}
またはキャッシュバック!
最大200,000円分
プレゼント!
※1 PayPayギフトカードで付与。PayPayポイント(出金/買戻不可)に交換することで利用可能。



nano 新規注文のみ
nanoにて、対象通貨ペアでの10,000通貨以上のお取引でもれなくプレゼント!
チャンスは全13回! 大人気御礼!
マネパのデジタルギフトキャンペーン
2024/4/1～全13回 第2回
第1回 4/1 - 4/5
第2回 4/8 - 4/12
第3回 4/15 - 4/19
Coke ONで使えるCoke ONドリンクチケット1枚 (お好きなCoke ONドリンク1本)
amazon gift card
Amazonギフトカード 200円分
サーティワン アイスクリーム 200円ギフト券

V 參考資料



2005年 ……外国為替取引業を開始

2012年 ……東証2部へ上場

2013年 ……東証1部へ指定変更（FX主軸の会社初）

2022年 ……東証プライム市場に移行

2023年 ……東証スタンダード市場に移行

(2024年3月31日時点)

代表者	代表取締役社長 福島 秀治
連結子会社	株式会社マネーパートナーズ 株式会社マネーパートナーズソリューションズ } 完全子会社
主な事業内容	マネーパートナーズ ・外国為替証拠金取引（FX） ・CFD取引（金、銀、暗号資産） ・証券取引 マネーパートナーズソリューションズ ・システム開発業務 ・システム保守業務 ・システム運用業務
資本金	20億円
営業収益（連結）	56億円
純資産（連結）	138億円
従業員数（連結）	89人
上場市場	東証スタンダード（証券コード：8732）（2023年10月20日にプライム市場から移行）
発行済み株式総数	33,801,900株
株主数	13,896人
事業年度	4月1日より翌年3月31日まで

月次連結業績指標推移

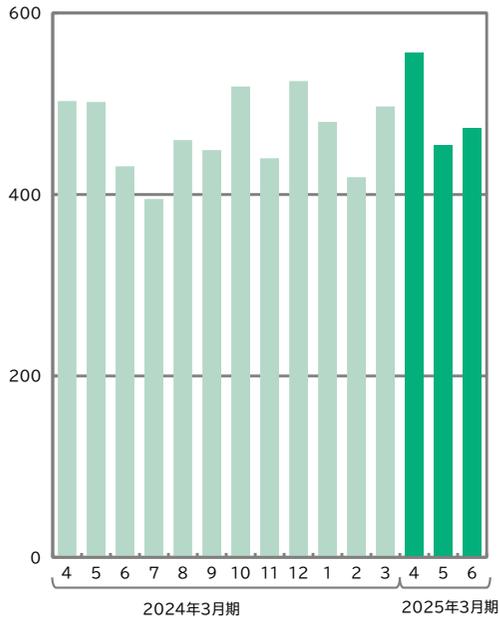
■ 月次連結営業収益、外国為替取引高、顧客口座数、顧客預り証拠金の推移

	2024年3月期												2025年3月期		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
営業収益(百万円)	503	502	431	395	460	449	519	440	525	480	419	497	556	454	473
外国為替取引高 (百万通貨単位)	72,285	85,026	102,447	105,809	95,174	78,390	80,247	89,832	99,180	98,970	84,544	83,817	90,594	105,687	124,056
顧客口座数(口座)	360,441	361,481	362,428	363,570	364,294	364,914	365,857	366,704	367,482	368,432	369,293	370,506	371,199	372,637	373,783
顧客預り証拠金(百万円)	52,386	52,333	49,506	48,976	48,796	49,372	48,928	48,519	46,681	46,442	45,991	45,178	43,640	42,885	42,839

(注) 1. 「外国為替取引高」及び「顧客預り証拠金」には2011年8月より開始したCFD-Metals(差金決済取引)に関する数値を含めております。
 2. 2022年3月より、暗号資産CFD取引(差金決済取引)における預り証拠金及び取引高(売買代金を米ドルに換算)はそれぞれ「顧客預り証拠金」、「外国為替取引高」に含めて表示しております。

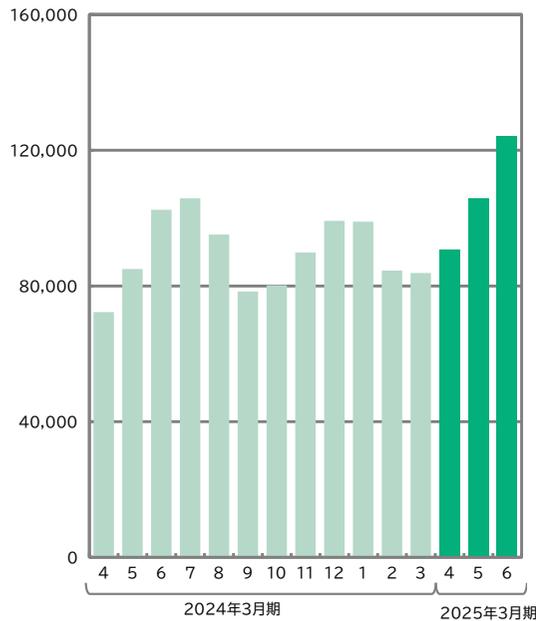
【営業収益】

(単位:百万円)



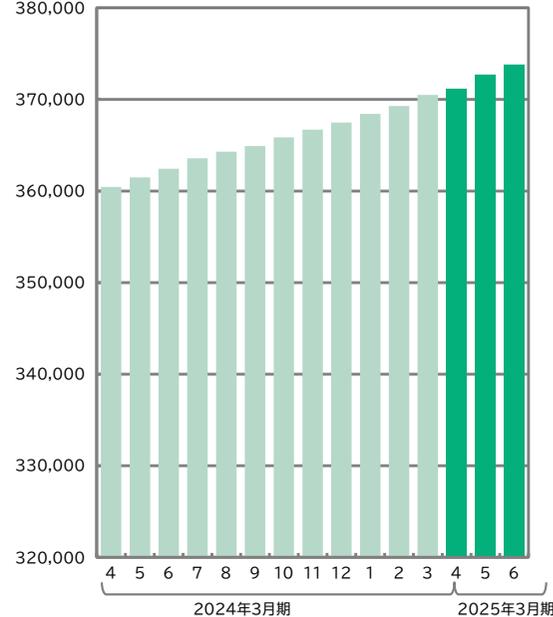
【外国為替取引高】

(単位:百万通貨単位)



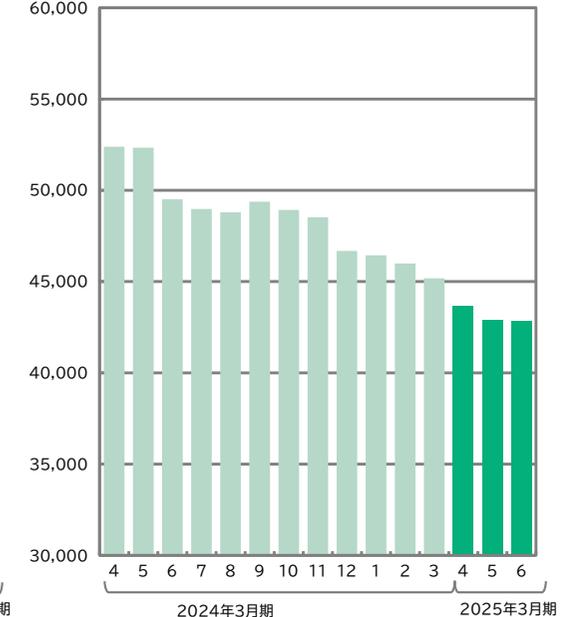
【顧客口座数】

(単位:口座)



【顧客預り証拠金】

(単位:百万円)





FX取引(外国為替証拠金取引)、商品CFD取引、証券取引、および暗号資産CFD取引(暗号資産 関連店頭デリバティブ取引)に関するご注意

【パートナーズFXおよびパートナーズFXnano】

パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。パートナーズFXおよびパートナーズFXnanoの取引に必要な証拠金は、取引の額の4%以上の額で、証拠金の約25倍までの取引が可能です。法人コースの建玉必要証拠金金額は原則、一般社団法人金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引の額に乗じて得た額とします。為替リスク想定比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第31項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。但し、一般社団法人金融先物取引業協会が為替リスク想定比率を算出していない通貨ペアにつきましては、一般社団法人金融先物取引業協会と同様の算出方法にて当社が算出した為替リスク想定比率を使用しております。取引手数料は無料です。なお、外貨両替については1通貨あたり0.20円、受渡取引については1通貨あたり0.10円の手数料をいただきます。

【CFD-Metals】

CFD-Metalsは、取引時の価格またはスワップポイントの変動、およびスワップポイントは支払いとなる場合があることにより、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。CFD-Metalsの取引に必要な証拠金は、取引の額の5%以上の額で、証拠金の約20倍までの取引が可能です。

【証券】

国内上場有価証券の売買等に当たっては、最大で約定代金の2.75%の手数料(消費税込み)、最低手数料は取引形態等により異なり最大で2,750円(消費税込み)をいただきます。有価証券のお預りが無く、一定期間証券口座のご利用が無い場合等は、別紙 ①「手数料等のご案内」に記載の 証券口座維持管理手数料1,100円(消費税込み)をいただきます。国内上場有価証券等は、株式相場、金利水準、為替相場、不動産相場、商品相場等の価格の変動等および有価証券の発行者等の信用状況(財務・経営状況を含む)の悪化等それらに関する外部評価の変化等を直接の原因として損失が生ずるおそれ(元本欠損リスク)があります。

【暗号資産CFD】

暗号資産は法定通貨(本邦通貨又は外国通貨)ではなく、特定の者によりその価値を保証されているものではありません。暗号資産は、代価の弁済を受ける者の同意がある場合に限り代価の弁済に使用することができます。暗号資産CFDは、取引時の価格の変動により、売付時の清算金額が買付時の清算金額を下回る可能性があるため、損失が生じるおそれがあります。また、証拠金の額以上の投資が可能のため、その損失の額が証拠金の額を上回るおそれがあります。売付価格と買付価格には差額(スプレッド)があります。暗号資産CFDの取引に必要な証拠金は、取引の額の50%以上の額で、証拠金の約2倍までの取引が可能です。取引にあたり、営業日をまたいで建玉を保有した場合にはレバレッジ手数料が発生します。

取引開始にあたっては契約締結前書面を熟読、ご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願い致します。

〈商号〉株式会社マネーパートナーズ(金融商品取引業者・商品先物取引業者)

〈金融商品取引業の登録番号〉関東財務局長(金商)第2028号

〈加入協会〉日本証券業協会 一般社団法人金融先物取引業協会 日本商品先物取引協会 一般社団法人日本暗号資産取引業協会

株式会社マネーパートナーズグループ

東京証券取引所：スタンダード市場

証券コード：8732

2025年3月期 第1四半期

決算説明資料

2024年8月9日